




**PICTET**  
 1805

# Pictet Mirai Project

ピクテ・ミライ・プロジェクト

220年の歴史を持つピクテ・グループは、経営理念の中枢にある「サステナビリティ」のもと、さまざまな形で地域社会への還元に努めて参りました。

ピクテ・ミライ・プロジェクトは寄付を通じて日本の地域社会に還元し、日本のサステナブルな未来に貢献する取組みです。ピクテ・ジャパンが受取る収益（信託報酬）の一部を、対象ファンドの取扱い純資産総額に応じて配分し、46道府県<sup>※</sup>の地域再生計画に基づく事業に寄付します。

## 当プロジェクトの主な寄付のテーマ



自然環境



教育



栄養



福祉



防災・復興



注：ピクテ・ジャパン（以下、当社）の本社所在地である東京都を除く46道府県 ※原則として、当社が受取る収益（信託報酬）の一部を、各金融機関における対象ファンドの取扱い純資産総額に応じて、当該金融機関の本社所在地（道府県）に寄付します。また、本社所在地が東京都の金融機関における上記取扱い純資産総額に応じた分は、46道府県に均等配分し寄付します。2025年は約5,430万円の寄付を行います。※状況等により、上記の方針通りに寄付が行われない場合があります。※2025年9月時点。将来見直しを行う可能性があります。

2025年度  
寄付先事業例

熊本県



## 草原の維持・再生加速化による阿蘇地域の 持続的発展プロジェクト

熊本県の「悠久の宝」である阿蘇の草原は、地元の野焼き従事者の高齢化・後継者不足によって、千年以上も続けられてきた維持管理が困難となっており、草原が森林へ遷移していくなどの荒廃が進み、危機的な状況に瀕している。このような状況に鑑み、阿蘇草原の将来世代への継承を目的として、野焼き後継者の育成や放棄地の野焼き再開など草原再生に向けた取組みを実施する。

### 寄付先事業例のイメージ



※上記はあくまでも寄付先事業例のイメージであり、実際とは異なる場合があります。

対象ファンド等の詳細は、  
こちらをご覧ください。

皆様の温かいご支援のおかげで、対象ファンドのお取扱いが全国各地に広がり、ピクテ・ミライ・プロジェクトによる寄付を続けられていることを心より感謝申し上げます。今後も長きにわたって共に歩んできたネットワークを通じて、地域の皆様にファンド等を通じた、持続可能な社会に向けての取組みを継続してまいります。

